



自好協
主学力

松ヶ枝

瀬戸内町立古仁屋中学校だより No.7
令和2年10月21日 発行

読書の秋に

「秋は夕暮れ。」

日ごとに秋も深まり、あつという間に日が沈むようになりました。清少納言は、秋は夕暮れに趣（おもむき）があると感じていました。夕日に染まる空を渡り鳥が飛んでゆく様子や、日が沈んでしまった後、風の音や虫の声が聞こえてくる様子を「あはれ」「をかし」といって、そのよさを表しています。

さて、体育大会に続いて文化祭・合唱コンクールも短い練習・準備期間ながら、総合的な学習や各教科、朝・帰りの会で取り組んできた成果を十分に出して、素晴らしい発表ができました。発表に対する反応や聞く態度もとてもよくて、改めて古仁屋中の生徒のよさを感じることでした。よりよいものを創り上げようと取り組んできた過程で深まった仲間との絆を大切にしたいと思います。

ところで、秋は「〇〇の秋」と例えられます。学校は、「スポーツの秋」から「文化の秋」へと進んできたので、次は「読書の秋」として心を成長させてほしいと思います。私たちは体験することで多くのことを学んでいますが、体験できることには限りがあります。読書は、それを補って広げたり深めたり様々な知識や考え方、生き方を学ぶことができます。本を読んで自分の何かがすぐに変わるわけではありませんが、夢や希望につながるものが得られるかもしれません。読書は、自分の未来への財産になると思います。『世界一受けたい授業』などテレビ番組でよく見かける齋藤孝さんは、読書をする人だけがたどり着ける「深さ」があるといいます。「深さ」とは、教養のことで、教養が人格や人生にまで生きている人が「深い人」です。深い人になるには、読書ほど適したものはありません。本を読むことで、知識を深め、思考を深め、人格を深めることができます。そして、「教養のある人のほうが、人生が面白くなる」と。

大島地区で目標にしている中学生の読書冊数は年間40冊です。一学期末の時点で古仁屋中学校の平均読書冊数は9冊です。図書館にはたくさん本が皆さんを待っています。秋の夜長、風の音や虫の声を聞きながら、読書に親しんでみてはいかがでしょうか。



校長 竹ノ山 誠忠 しげただ

文化祭・合唱コンクール

令和2年度文化祭・合唱コンクールが10月16日(金)に、「幸」～咲き乱れろ 青春のスマイル～ のスローガンの下開催されました。

当日は、学年ごとに保護者の参観時間を分け、密を避ける開催となりました。

オープニングは、生徒会役員による、気迫あふれる「南中ソーラン」でした。



1年生は、郷土学習で地域の方々から教えていただいたことや自分たちで調べたことなどを広幅用紙にまとめ掲示し、班ごとにパワーポイントを使い発表も行いました。

2年生は、平和について学習したことを班ごとにまとめ、パワーポイントを使い発表しました。来週、修学旅行で長崎を訪れ、さらに学習を深める予定です。

3年生は、奄美の自然について学習したことを、クイズ形式で楽しく発表しました。奄美に生きる動物たちの立体模型も制作し図書館を中心に展示しました。

合唱コンクールでは、3年2組が最優秀賞を獲得しました。その他、指揮者賞 田原幹斗君 伴奏者賞 根本もえなさん でした。おめでとうございます。



ビブリオバトルでは、学年予選を勝ち抜き、本選でも、聞く人を魅了した、渡辺朝陽君が紹介してくれた「店長がバカすぎて」がチャンプ本となりました。



生徒会役員選挙

10月10日(土)に生徒会立ち合い演説会と投票が行われました。開票の結果(〇は学年)

- 生徒会長 森 翔太 君②
- 副会長 叶 慈平 君②
- 書記 藤井 芳守 君①
- 会計 数原 悠 さん①



食に関する指導

10月13日(火) 町給食センターの栄養士である今熊先生に食事の大切さについてお話をさせていただきました。特に、中学生に必要なエネルギー量や栄養素など分かりやすく説明していただきました。最後に「You are what you eat」というお言葉もいただきました。



11月行事予定

- 2日(火)～6日(金) 県民週間(授業参観)
- 5日(木) 3年生進路説明会 3年学年・学級 PTA
- 14日(土) 進路講話 教科オリンピック
- 17日(火) 薬物乱用防止教室
- 18日(水) 避難訓練
- 第2回ストグレ魂見届け週間26日まで
- 25日(水)～27日(金) 期末テスト